

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：南シナイ・ターバーで観光バス爆破

16日午後2時（現地時間）、シナイ半島南部・イスラエル国境近くのターバーで、韓国人観光客を乗せたバスが爆破される事件が発生し、韓国人3名、バス運転手のエジプト人1名が死亡、韓国人14名が負傷した。南シナイ県知事によれば観光バスに仕掛けられた爆弾が爆破した模様で、現在も捜査中である。路肩爆弾の爆発という情報もある。バスには約40名が乗車しており、南シナイの観光名所・聖カトリーナ山からイスラエル国境に近い町ターバーへ向かっている途中だった。

現在までのところ（現地時間17日午前）、犯人は不明。シナイ半島では、最近、イスラーム過激派の活動が目立つが、いかなる組織からも犯行声明は出ていない。2000年代前半に、シナイ半島南部の観光地で一般市民や観光客を狙ったテロ事件が数度起きたが、それ以降、観光客を狙ったテロ事件は起きていなかった。また、2011年の革命から1年間ほど、シナイ半島でベドウィンが外国人観光客を誘拐する事件が多発したが、2012年中頃以降はこうした事件も発生していなかった。

（金谷研究員）